

平和で豊かな沖縄県を目指す情報誌

無料

ご自由にお持ち
帰り下さい

沖縄協会だより

2024.3

No.31



沖縄平和祈念堂防水塗装工事完了

沖縄協会では、1978年に開堂した沖縄平和祈念堂の経年劣化に伴う3回目の防水塗装工事を2023年7月1日より開始して本年1月31日に完了した。工事開始後は台風の影響や工法の変更により工期が延長したが、完了後には平和祈念公園にそびえ立つ美しい白亜の殿堂がよみがえった。

沖縄協会は、沖縄が本土に復帰するまでの間、各種の援護活動を行った特殊法人南方同胞援護会(昭和31年～47年5月)の後を受けて、昭和47年9月20日に設置された内閣府所管の公益法人です。新たに設立した財団法人沖縄協会は、南方同胞援護会の実績と経験を活用して、沖縄の振興施策に積極的に協力し、平和で豊かな沖縄県の建設に寄与してまいりました。平成23年(2011)4月1日、沖縄協会は内閣総理大臣より公益財団法人として認定を受けて「公益財団法人沖縄協会」として新たな一歩を踏み出しました。これからも、沖縄県の健全な発展と幸福な社会形成に役立つ事業を行いながら、沖縄平和祈念堂を管理運営することで、平和で豊かな沖縄県の建設に貢献していきます。

公益財団法人 沖縄協会

第45回沖縄研究奨励賞・受賞者記念講演

沖縄協会は、令和6年1月24日「第45回沖縄研究奨励賞贈呈式」を開催した。今回受賞した自然科学部門のアリモドキゾウムシ根絶研究グループ(代表:日室千尋琉球産経株式会社研究員、グループ員:池川雄亮琉球産経株式会社研究員)、陳碧霞琉球大学准教授に、清水治会長から本賞(賞状楯)と副賞が贈呈された。贈呈式の後に行われた受賞記念講演の内容を紹介する。



【左から池川雄亮さん、日室千尋さん、陳碧霞さん】

不妊虫放飼法を用いたアリモドキゾウムシの根絶と再侵入対策

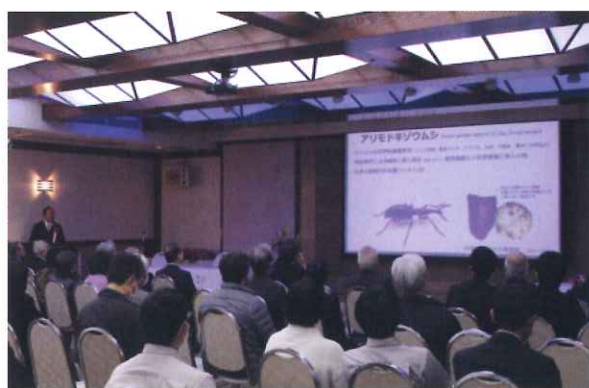
アリモドキゾウムシ根絶研究グループ
代表・日室千尋 グループ員 池川雄亮

甘藷の世界的な大害虫アリモドキゾウムシ *Cyrtus formicarius* は、その分布を拡大、日本の南西諸島にも侵入し大きな被害をもたらす。甘藷畑におけるその被害率は20〜100%に至ります。そのため、植物防疫法により沖縄県などの発生地域から他地域への甘藷の出荷が停止されています。そこで、沖縄県では1993年のウリミ、バ工根絶成功のノウハウを踏まえ、1994年から久米島、2007年から津堅島において、雄除去法と不妊虫放飼法を組み合わせた広域的な相互的害虫管理法によって、アリモドキゾウムシの根絶事業に取り組みました。

不妊虫放飼法とは、対象害虫を大量に増殖し、放射線等で不妊化し野外へ放すことで野生虫同士の交尾を妨げ、繁殖を阻害、やがて根絶に至らせる防除方法です。久米島では、合計4億6千万頭の不妊虫を全域に放飼しました。野生寄主植物であるノアサガオを580箇所、8万8333本、甘藷では、茎1万2748本、塊根4万8749個を分解調査したところ、その寄生率はゼロだったことから、2012年に世界で初めて不妊虫放飼法を用いたアリモドキゾウムシの根絶が確認されました。また、うるま市勝連半島から4kmしか離れておらず、島外から雄の飛来がある津堅島では、根絶確認調査に用いるトラップに誘殺される雄が島外からの飛来由来なのか、島内での繁殖由来なのか判断できず、根絶確認

が困難になりました。そこで、一時的に飛来源である勝連半島で防除し、島内のトラップで誘殺される雄を抑え、久米島と同様の寄主植物の調査により根絶確認成功に結びつけました。加えて、再侵入対策として、トラップで誘殺された場合に、飛来か再発生かを判断するための調査コストを抑えつつ、実際に島内でアリモドキゾウムシが再発生した場合には、速やかに警告するためのシステムの構築を飛来雄の誘殺の時空間パターンを定式化することで成功し、現在も運用しています。

久米島及び津堅島でのアリモドキゾウムシの根絶防除事業の成功をモデルケースとして、国内外での害虫管理、不妊虫放飼法の発展に寄与できれば幸いです。また、この事業は根絶を達成することだけでなく、その後の再侵入対策がとても重要です。その方面での課題を解決するために、今後も研究に励みたいと思います。



【受賞記念講演】日室千尋さん

琉球風水とフクギ並木

陳 碧霞

沖縄の伝統的集落景観は家屋敷がフクギ林で囲まれ、さらにその外側に海浜から幾重にも抱護(防風林)と呼ばれる林帯で取り囲まれている。抱護の多くは戦争や土地開発などで破壊されてしまったが、わずかに本部町備瀬、今帰仁村今泊や離島の渡名喜島・波照間島などの集落で確認することができる。これらの抱護景観は他の地域では見ることのできない沖縄独特のものである。本研究は、20年以上かけて、琉球王朝時代に系譜をもつ県内外のフクギ屋敷林と抱護の植生構造と集落景観を調査して、幾重の抱護が、島嶼地域の自然環境に適應されて、冬の季節風、夏の台風に対応している事実から中国の古典的な「大陸型風水モデル」に対し、より沖縄に対応した「島嶼型風水モデル」と位置付けている。

私は琉球列島の30余りの島々における各集落の残存フクギ老樹木の調査を行い、西表島に流れ着いたフクギの種子から西表島のフクギ屋敷林が始まり、それが徐々に琉球列島に広がったという仮説を提示し、フクギ屋敷林は琉球列島のほぼ全域に分布していることから、琉球固有の文化的産物であることを示した。フクギを主な樹種とする屋敷林は約300年前の琉球王府時代に成立したと考えられている。

琉球列島に現存するフクギの木を〇万本にわたり1本1本樹高と幹の太さを調査し、集落ごとのフクギ老木データを作り、更に住民へのインタビューを行い、フクギ屋敷林の管理現状及び保全課題を明らかにした。

本部町備瀬集落での事例研究を通じて伝統的フクギ屋敷林景観に対する観光客の

関心、評価、保全意識を明らかにしており、フクギ屋敷林は沖縄の重要な観光資源であることを再提案した。アンケート調査・ヒアリング調査、文献検索などの社会学、植物民俗学的手法を用いて、フクギという植物に観光的価値や文化的価値を見出している点である。

農村地域、とくに離島では多くの住居が空き家となつて放棄され、屋敷林の手入れもされなくなつている。現在では、居住者の高齢化に伴い、フクギ屋敷林の適切な管理が困難な状況になつてきており、屋敷林の維持管理の問題が潜在化してきている。

今後は沖縄の集落景観及びフクギ屋敷林のユニークさを追求するため、琉球列島との比較で中国・韓国・香港・台湾まで調査範囲を広げていきたいです。また、フクギの葉、樹皮、花、果実の高度利用に関する研究及び地域とともにフクギ屋敷林景観の保全活動を取り組んでいきたいです。



【受賞記念講演】陳碧霞さん



【主催者挨拶】清水治沖縄協会会長



受賞記念講演 池川雄亮さん



受賞者を囲んで歓談

沖縄協会資料室の書籍について

沖縄協会資料室(沖縄平和祈念堂管理事務所2階)には、沖縄関係図書約5,700冊を所蔵しているが、その中から著書2点・写真集1点を紹介する。著書2点は初版本。写真集は沖縄戦の戦渦に巻き込まれる以前に撮影されたもので、当時の風景・建築物(首里城・崇元寺他)・人物(琉球舞踊他)・街並み・動植物など146枚の写真が貼付されている。いずれも貴重な書籍である。

- ① 伊波普猷著『古琉球』1942年(昭和17)発行・初版
- ② 柳田國男著『海南小記』1941年(昭和16)発行・初版
- ③ 『沖縄記録・写真集』1939年(昭和14)4月5日撮影(撮影者不明)



沖縄戦焼失前の首里城正殿龍頭棟飾と大龍柱

★表千家同門会沖縄県支部設立 60周年「御家元猶有齋宗匠御献茶」

3月10日、表千家同門会沖縄県支部（湧川昌秀支部長の支部設立の60周年を記念して「御家元猶有齋宗匠御献茶」が沖縄平和祈念堂で開催され、茶道関係者約160人が参加した。参加者が見つめる厳かな雰囲気の中、表千家15代家元猶有齋千宗左宗匠が平和を祈念しお献茶を厳かに行い、平和祈念像に茶を献じた。平成25年には同県支部設立50周年記念の献茶式があり、その際には14代家元而妙齋宗匠が行った。



御家元猶有齋宗匠御献茶の様子

★平和の鐘「鐘楼」防水塗装工事完了

沖縄平和祈念堂開堂時に、平和祈念堂の理念に賛同したライオンズクラブ国際協会337複合地区から寄贈された平和の鐘を吊るす鐘楼も堂宇防水塗装工事と併せて工事を行った。



工事を終えた平和の鐘「鐘楼」

協会関係事業他

募集案内など

★2024年度沖縄青少年勉学

支援生募集

2024年度沖縄青少年勉学支援生の応募受付を4月1日から開始します。支援金額が24万円(年額)になります。締め切りは6月30日まで(当日消印有効)。勉学支援を希望される方は、本会ホームページの「事業内容」から「沖縄青少年勉学支援制度」へ進み、申請書をダウンロードしてA3サイズでプリントアウトして下さい。必要事項を記入のうえ必要書類2点(在学証明書・在職証明書)を添付して左記の住所へ郵送して下さい。7月に行われる審査委員会において、当該年度の勉学支援生を決定いたします。

【申請書の送付先】

〒103-0001

東京都中央区日本橋小伝馬町17-16

シエスタ日本橋 2001

(公財)沖縄協会 沖縄青少年勉学支援担当

★沖縄平和祈念堂改修工事に 伴うご寄付のお願い

開堂から45年を迎えた沖縄平和祈念堂では、現在、経年劣化による改修工事を頻繁に実施しております。今後、さらに工事が必要と考えられますので、多くの皆様にご経費に対するご寄付を賜りますようお願い申し上げます。ご連絡いただきまして、ゆづちみ銀行専用の振込票を送付させていただきます。

また、インターネットを利用してのご寄付も可能です。Synable(シンカブル)というプラットフォームにアクセスしていただき、団体を探すページから「沖縄協会」で検索してください。

公益財団法人 沖縄協会

【電話番号】03-6231-1433】

【FAX】03-6231-1436】



synable(シンカブル)

※詳細は、公益財団法人沖縄協会のホームページより



沖縄平和祈念堂美術館

沖縄を描く：沖縄をモチーフにした作品 6

摩文仁の丘 松尾洋明 作

松尾洋明 昭和16年 福岡県生

画歴

パリ・エルサレム他各地個展、イスラエル他遊学。示現会展入選、同会佳作賞、現代洋画精鋭選抜展入賞、同記念大展佳作。

額サイズ

M10 縦×横×厚【47.3×66.8×4.5cm】

